

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 港湾振興について	(1) 室の設置により、本市の港湾振興がさらに進むことが期待される。特に輸出戦略において、関係課も多くあり、明確な方向性やビジョンが示される必要があると思うが、考え方を示せ。	市 長
	2 農業振興について	(1) (仮称) 農業サポートセンターが設置され、市内農業従事者のよりどころとして期待されるが、各種相談事をはじめ、生産者の所得向上や離農抑止、または新規就農者支援等、多岐にわたる課題の中で、積極的な営農指導による支援体制の構築を図る必要があると思うが、考え方を示せ。	市 長
	3 教育行政について	(1) 市内各校には、学校運営協議会が設置され、各種取組や課題、または地域との連携の在り方等についても意見が交わされている。コロナ禍で、学校との連携も希薄になりつつあることが危惧される中、市当局が考える協議会の目指すべき目的や、あるべき姿について考え方を示せ。	市 長 教 育 長
	4 空き家対策について	(1) 市内には多くの空き家が点在し、今も増え続けている。空き家バンクの活用も含め、移住・定住につながるような有効な施策の展開は考えられないか。	市 長
2 小野広嗣	1 施政方針について	(1) 自治体DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進について 自治体DXを踏まえ、デジタル技術等を活用して、市民の利便性の向上や業務の効率化を図るとあるが、自治体行政においては、「住民基本台帳」など20業務について、国が定めた仕様に基づくシステムの標準化に向けた作業が求められるなど、デジタル化は喫緊の課題である。本市の行政デジタル化推進に向けた取組状況と推進体制について問う。	市 長
		(2) 地域福祉・高齢者福祉の充実について 高齢者等を中心に食料品の購入や飲食に不便や苦勞を感じる方、いわゆる「買い物弱者等」が増えてきており、「食料品アクセス問題」として社会的な課題になっている。外出に困難を感じている高齢者等が、安全に安心して外出ができる体制づくりは喫緊の課題である。本市の認識と課題解決に向けた取組について問う。	市 長
		(3) 自助共助による健康づくりの推進について 厚労省によると、うつ病を含む精神疾患の患者数は約615万人に上る。コロナ禍での不安や孤立・孤独などで心の不調を抱える人はさらに増加しているとみられる。そうした精神的な不調を抱える人々を支え、適切な支援が届けられる体制構築に向けた本市の取組について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2 小野広嗣	2 児童虐待について	(1) 2021 年度に県内の児童相談所と各市町村で把握した虐待の通告・相談は 3,792 件で、うち 2,423 件が虐待と認定され、過去最多となっている。全国で相次ぐ虐待事件を受け、住民の関心が高まり、通報などが増えていると考えられている。本市の児童虐待の現状と対応状況について問う。	市 長 教 育 長
	3 部活動の地域移行について	(1) 公立中学校の休日の部活動の「地域移行」が、2023 年度から段階的に始まる。政府は 25 年度までの 3 年間で「改革集中期間」と位置付けて移行を進めるとしているが、部活動のあり方を大きく転換するものであり、学校や移行先だけでなく、保護者や行政などの関係者が連携しながら丁寧に進める必要があると考えるが、本市の今後の方向性について問う。	教 育 長
3 永田 梓	1 環境行政について	(1) 施政方針で、「市民のごみ出しの機会の充実を図るため、自治会回収日及び市営駐車場集合収集日以外にも資源ごみを出すことができる環境の整備に向けた検討を行う」とあるが、これまでの取組状況及び今後の具体的な検討内容を問う。	市 長
		(2) 資源ごみの売却収益は年間 2,000 万円近くに上るが、その収益金を活用して、本市で誕生した赤ちゃんや、希望する高齢者へ紙おむつの無料配布を検討できないか。	市 長
		(3) 小・中学生が入学時に購入した制服は、成長期にある中で次第に着用が難しくなり、新たに購入を検討しなければならない場合がある。卒業等などにより着用しなくなった制服の譲渡ができる場を、本市で提供する取組が検討できないか問う。	市 長 教 育 長
	2 動物愛護について	(1) 野良猫を捕獲し、不妊・去勢手術を行い、元の場所に戻す（TNR）活動をされているボランティアの方から、「市からの助成は年間 5 匹分であり少ない」との声が上がっている。助成金額の増額と、限度額の撤廃はできないか問う。	市 長
		(2) 犬・猫の多頭飼育崩壊が確認された際、市としてどのような対応・対策を行うのか問う。	市 長
		(3) 本市は 1,578 頭の犬の登録があるが、市民とペットの憩いの場として、ドックランの設置を検討できないか問う。	市 長
	3 やっちくふるさと村（道の駅松山）について	(1) あと 3 年程度で指定管理期間が終了するが、今後は指定管理施設の分散や、一部をテナントとして他の事業者へ貸し出す等の検討ができないか問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
3永田 梓	3 やっちくふるさと村（道の駅松山）について	(2) 今後の活用について、多目的広場にオートキャンプ場を整備するとともに、施設の一部をシェアキッチンとして開放する考えはないか問う。	市 長
4稲付洋平	1 施政方針について	(1) 施政方針において、「市民が主体となったまちづくりを推進する」や、『市民目線』の初心を忘れることなくとあるが、市民の声をどのように反映させていく考えか問う。	市 長
	2 エネルギー施策について	(1) 近隣自治体では、水力発電、風力発電などの自然を生かした再生可能エネルギーの導入に取り組んでいるが、本市への導入計画はないか問う。	市 長
5青山浩二	1 本庁舎移転計画について	(1) 今定例会で議案として上程されている民間ビル購入について、なぜ、事前に市民や議会に説明をし、意見を聞く機会を設けないまま提案に至ったのか問う。	市 長
		(2) 民間ビル購入の提案は、どのような会議を経て、いつの時点で決まったのか問う。	市 長
		(3) 庁舎等の在り方検討委員会からの提言をどのように受け止め、民間ビル購入の提案に至ったのか問う。	市 長
		(4) 今後の組織機構再編の考え方について問う。	市 長
		(5) 今定例会で議案として上程されている志布志市庁舎整備事業基金条例について、予定している積立額及び積立期間を示せ。また、当該基金の活用方法について問う。	市 長
6隈元香穂子	1 産婦人科の誘致に向けた取組について	(1) 令和4年12月定例会において、産婦人科のオンライン診療相談及び対面診療について一般質問したが、現状では具体的な取組が示されていないように見受けられる。現在の進捗状況と今後の対応を問う。	市 長
	2 志布志港の利活用促進について	(1) 観光船バースでは、地域活性化につながるようなイベントの開催などみられないが、現状における利用の状況について問う。	市 長
		(2) 「港のあるまち・志布志」の特色を最大限に生かしたイベントの開催に取り組む考えはないか問う。	市 長
	3 子育て支援について	(1) 0歳児から2歳児までの保育施設利用者に対して、「手ぶら登園」を支援・導入する考えはないか。	市 長
7八代 誠	1 港湾行政について	(1) 志布志港の現状について以下を問う。 ① 志布志港の輸出入について。 ② 港湾管理者である県が策定する志布志港港湾計画の改定の状況について。	市 長
		(2) 「みなとオアシス」認定に向けた取組について問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7八代 誠	2 防災行政 について	(1) 中山間地域に存在する県営シラス対策事業等で設置された排水施設の維持及び管理について問う。	市 長
		(2) 本市単独補助事業である「宅地災害復旧作業支援事業補助金」及び「法面防災事業補助金」制度について問う。	市 長
8小園 義行	1 会計年度 任用職員制 度について	(1) 待遇改善について問う。 (2) 国の期間業務職員に支給されている勤勉手当を支給する考えはないか。	市 長 市 長
	2 住宅政策 について	(1) 市営住宅の空き家政策の対応について、現状と今後の考え方を問う。 (2) 県営住宅退去時の個人負担に対して、県に見直しをするように要望する考えはないか。	市 長 市 長
	3 国保につ いて	(1) 県国保財政安定化基金の運用について、その後の対応はどうなったのか。 (2) 子供の均等割額の独自軽減を図る考えはないか。	市 長 市 長
	4 教育行政 について	(1) 施政方針で学校の在り方を考えていきたいと述べている考え方を問う。	市 長 教 育 長
	5 インボイ ス制度につ いて	(1) 導入（開始）にあたって、水道事業会計、農業集落排水事業会計、学校給食の食材納入業者への影響と対応を問う。	市 長 教 育 長
	6 地域コミ ュニティに ついて	(1) 現在、自治会未加入の住民との合意形成の在り方について問う。	市 長 教 育 長
9南 利 尋	1 林道整備 について	(1) 伐採作業が終了した林道で、施設の破損が多く見受けられる。徹底した維持管理を図るべきではないか問う。	市 長
	2 観光振興 について	(1) ダグリ岬ベイサイド構想に対して、どのようなグランドデザインが策定されたのか問う。 (2) ダグリ岬周辺を魅力ある観光地として整備するためにも、徹底した環境保全に取り組むべきではないか問う。 (3) 稼ぐ観光の一環として、道の駅整備事業に取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長 市 長
	3 環境行政 について	(1) SDG sの観点からも、埋立処分場の在り方を検討すべきではないか問う。 (2) 近隣自治体と連携を図り、新たなごみ処理の在り方に取り組むべきではないか問う。	市 長 市 長
10戸山 晋司	1 創業支援 について	(1) 新年度の創業支援施策について考え方を問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10 栢山晋司	2 学校でのマスク対応について	(1) 政府の新型コロナウイルス感染症対策本部の決定を踏まえて、マスク着用の考え方の見直しについて文部科学大臣から発言もあったが、新年度からの学校生活におけるマスク対応をどのように考えているか。	市 長 教 育 長
	3 子育て支援について	(1) 父親に対する乳幼児指導の実施状況を問う。	市 長
11 小辻一海	1 権限移譲について	(1) 合併から現在までの本市における権限移譲の推移について問う。	市 長
		(2) 権限移譲を受けた事務内容とメリット、デメリットについて問う。	市 長
		(3) 移譲事務の増加に対する職員体制と専門的な技術研修等の人材育成について問う。	市 長
(4) 農地転用許可等に関する事務の権限移譲について問う。		市 長 農 業 委 員 会 会 長	
(5) 浄化槽設置等の届出受理・維持管理指導に関する事務の権限移譲について問う。		市 長	
(6) 権限移譲を受けるにあたっての財源措置について問う。		市 長	
2 税の滞納対策について	(1) 令和3年度決算において、市税が減収になっている。具体的な状況を示せ。	市 長	
		(2) 滞納状況の分析と滞納縮減への取組について問う。	市 長
		(3) 税・使用料等の滞納を一括して管理する部署を設置して、財政健全化を図る考えはないか。	市 長 教 育 長
3 学校給食センターについて	(1) 学校給食センターを8月から民間業者へ委託していくがその理由を示せ。	市 長 教 育 長	
		(2) 民間委託となった場合、現在働いている会計年度任用職員の雇用条件、賃金や勤務日数等の処遇について問う。	教 育 長
		(3) 食材の購入にあたり、地元の生産者や納入業者との連携について問う。	教 育 長
		(4) 給食の献立作成、食に関する指導について問う。	教 育 長
		(5) 民間委託にあたっての保護者説明について問う。	教 育 長
12 福重彰史	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木・志布志線弓場ヶ尾地区の拡幅改良の計画と見通しを示せ。	市 長
	(2) 県に具体的にはどのような要望・要請を行っているのか示せ。	市 長	
2 中学校自転車購入について	(1) 自転車通学生の現状と助成（補助）要件を示せ。	教 育 長	
		(2) 対象者全員を自転車購入の助成（補助）対象にする考えはないか。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年3月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
12福重彰史	3 サツマイモ基腐病対策について	(1) 昨年の基腐病の発生状況と、市として行ったまん延防止策を示せ。 (2) 今年のまん延防止対策を示せ。 (3) 土作りのため、堆肥センター（仮称）の設置を検討する考えはないか。	市 長 市 長 市 長
	4 有害鳥獣対策について	(1) 被害状況と、どのような対策が取られているか。また、報償金の交付（給付）はどうか示せ。 (2) 個体数を減らすため報償金の見直しをする考えはないか。	市 長 市 長
13鶴迫京子	1 施政方針について	(1) 「市民のごみ出しの機会の充実を図るため、自治会回収日及び市営駐車場集合収集日以外にも資源ごみを出すことができる環境の整備に向けた検討を行う」とあるが、どのように進めていく考えか。 (2) 「家庭ごみの分別に支障を来している高齢者、心身障がい者等の負担軽減を図るため、専用袋により排出することができる仕組みを構築し、安心してごみ出しができる環境づくりに努める」とあるが、具体的な方策について問う。 (3) 「特別支援学校の誘致については、県の動向を注視し、関係機関と連携を図り、特別支援教育の充実に向けて取り組む」とあるが、今後どのように進めていく考えか。	市 長 市 長 市 長 教 育 長
	2 環境行政について	(1) 高下谷親水公園のトイレや周辺の環境整備について、昨年6月定例会で一般質問したが、その後の検討結果を問う。 (2) 良好な生活環境を保全し、市民の安全安心な住環境を守るために、空き家等市内の土地や建築物が適切に利用・管理されるように、条例を定める考えはないか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 栞山 晋司	1 人口減少について	(1) 若い世代の人口減が顕著な本市では、今後どのような問題が起こると予想されているかを問う。 (2) 若い世代の定住と、流入人口増加を目指して、市営住宅の入居要件を緩和する考えはないかを問う。	市 長 市 長
	2 ダグリ岬ベイサイドパーク構想について	(1) ダグリ岬ベイサイドパーク構想について、ユニバーサルデザインを考慮した設備やブルーフラッグ（海辺の国際環境）認証基準を意識した考えがあるのかを問う。	市 長
	3 子育て支援について	(1) 児童館を設置する考えがあるのかを問う。	市 長 教 育 長
2 稲付 洋平	1 市内の公園について	(1) 公園の在り方について以下を問う。 ① 公園遊具の一部を撤去した理由について問う。 ② 公園遊具を増設する考えはないか。 ③ 公有財産を活用し民間企業と連携できないか。	市 長 教 育 長
	2 移動手段の確保について	(1) 電動カート購入補助金を新設できないか問う。	市 長
	3 教育行政について	(1) 教育現場の現状について以下を問う。 ① 学力の現状と向上に向けた取組について。 ② 豊かな人間性を育む取組について。 ③ 健康・体力向上に向けた取組について。	市 長 教 育 長
3 隈元 香穂子	1 子育て支援について	(1) 子育て支援について、県内他自治体と比較した場合、本市の状況をどのように捉えているか。 (2) 新たな取組としての子育て支援策はあるのか。 (3) 小児医療の充実について、今後どのように取り組んでいくのか。	市 長 市 長 市 長
	2 特認校問題について	(1) スクールタクシーの廃止に伴い、地域コミュニティへの影響等についての考えを問う。	市 長 教 育 長
	3 チョイソコしぶしについて	(1) 本格運行を開始したことで、予約が取れないという声を聞くが、現在の2台体制から3台へ増やす考えはないか。 (2) 本格運行して以降、改善点は見えてきたか。また、それについての今後の取組について問う。 (3) 高齢者運転免許自主返納支援事業の特典として、チョイソコしぶしの利用券を加えることについて以前質問したが、進捗を問う。	市 長 市 長 市 長
	4 志布志市臨海工業団地整備事業について	(1) 志布志市臨海工業団地（5工区）は、令和4年2月に立地基本協定を締結したが、現在の進捗状況を示せ。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 西江園 明	1 子育て支援について	(1) 市長会等を通じ、現行のふるさと納税制度の永久継続を国へ要望する考えはないか。 (2) ふるさと納税の活用策が市民に見える形の一環として、学校給食費を完全無料化する考えはないか。 (3) 保育園や認定こども園の利用定員の考え方について問う。 (4) 現在、保育士の給与の一部が補助されている国の事業は、永続的な施策か。 (5) 食材費等の価格高騰により、保育園や認定こども園の経営を圧迫している状況である。各施設へ補助すべきではないか。	市長 市長 市長 市長 市長
	2 種子島航路の新設について	(1) 馬毛島の開発により、今後、物資・人の交流が大幅に増加することが期待される。志布志港との間を結ぶ航路の開設を急ぐべきと思うが、見解を問う。	市長
5 小野広嗣	1 自治会組織の在り方について	(1) 自治会は地域に住む人々が互いに支え合う自主的な組織として、ごみや資源回収など、生活環境の整備や福祉の向上、防犯、防災など重要な役割を担っているが、高齢化や未加入世帯の増加などにより、その維持に困難を来している自治会もある。本市の現状認識と課題解消に向けた取組について問う。	市長
	2 災害時の業務継続性確保のための施策について	(1) 近年、気候変動による災害の激甚化や頻発化に対して、人の生命を守るための対策強化が必要であり、災害時の業務継続性の確保は極めて重要であるが、本市の認識と取組の現状について問う。	市長
	3 熱中症対策の推進について	(1) 気候変動の影響により、国内の熱中症による死亡者数は増加傾向が続いており、近年では年間千人を超える年が頻発している。今後起こり得る極端な高温も見据えて、熱中症の発生の予防を強化するための取組を一層強化することが必要ではないか。 (2) 学校における、子供の熱中症を防ぐための対策も、大変に重要である。熱中症対策の取組状況について問う。	市長 教育長
	4 不登校児童・生徒への支援について	(1) 文部科学省は令和5年3月31日に、誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現していこうと「COCOROプラン」を発表した。不登校の児童・生徒は、一人一人の状況が大きく異なるため、丁寧な指導を行うために、多様な学びの場の確保や、指導体制を整備することが必要である。本市の不登校児童・生徒支援の取組について問う。	教育長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7永田 梓	2 防犯対策について	(2) 不法投棄の多い場所について、一時的にでも防犯カメラを設置することはできないか。 (3) 市内小中学校への防犯カメラ設置について、どのように考えているか。	市 長 教 育 長
8八代 誠	1 有害鳥獣対策について	(1) 今定例会の補正予算において提案されている有害鳥獣捕獲事業について問う。 (2) イノシシによる掘り返しで、ほ場の法面や農道の崩壊があり、市民からの相談が寄せられている。崩壊箇所の復旧に対する支援（市単独事業による整備）はできないか。	市 長 市 長
	2 道路行政について	(1) 市道、農道の区画線の現状と対応について問う。	市 長
9南 利尋	1 有害鳥獣捕獲事業について	(1) 昨今、中山間地域では昼夜問わずイノシシ等を見かけるようになった。明らかに個体数が増え、被害数が多発している。予算の拡充を図り、捕獲事業に取り組むべきではないかを問う。 (2) ジビエを、ふるさと納税の返礼品などの特産物として、加工、販売事業に取り組む考えはないか問う。	市 長 市 長
	2 鳥獣害対策について	(1) 家畜農家から、カラス被害の相談が数件あった。現状を把握し、生産者ととも駆除対策に取り組むべきではないか。	市 長
	3 観光振興について	(1) 第2次志布志市観光振興計画の基本方針に「稼ぐ観光地経営を目指す」とあるが、「歴史のまちづくり事業」に対しての費用対効果及び経済波及効果をどのように捉えているか問う。 (2) 「稼ぐ観光地経営」を実現させるためにも、経済活動拠点整備事業にスピード感をもって取り組むべきではないか問う。 (3) ダグリ岬ベイサイド構想の進捗状況について問う。	市 長 教 育 長 市 長
		(4) どのような、ランドデザインが策定されているのか問う。	市 長
4 環境行政について	(1) 昨今、以前より多くの箇所で不法投棄を見かける。本市独自の厳しい罰則を設けるべきではないか問う。 (2) 本市を訪れる方が不快な思いをしないためにも、観光拠点に「護美箱」を設置する考えはないか問う。	市 長 市 長	
	10市ヶ谷 孝	1 本庁舎移転計画について	(1) 今定例会で補正予算として議案上程されている民間ビル購入について、前回定例会での減額修正後、再上程するにいたった経緯について問う。 (2) 本庁機能を志布志庁舎に移転して以降、周辺民間施設の活用についてどのような取組をしてきたのか問う。

一 般 質 問 通 告 書

令和5年6月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10市ヶ谷孝	1 本庁舎移転計画について	(3) 今回購入を想定している民間ビルの購入意図と活用方法について問う。	市 長
11東 宏二	1 道路行政について	(1) 市道、県道、国道の維持管理状況、特に除草作業の現状と対策について問う。	市 長
	2 指定管理について	(1) ボルベリアダグリ、道の駅松山「やっちくふるさと村」の運営状況と、今後の指定管理委託事業の考え方について問う。	市 長
	3 枇榔島の栈橋について	(1) 枇榔島の栈橋設置について、本市としての今後の考え方を示せ。	市 長
12鶴迫京子	1 交通安全対策について	(1) 市民から信号機設置の必要性や、停止線・外側線・横断歩道など白線が消えている箇所が市内いたるところで見受けられ、危険であるとの相談が寄せられている。現状認識と今後の対策について問う。	市 長
		(2) 歩道横の雑木が生い茂り、頭上危険な状況下で通学している児童・生徒の保護者から不安の声が寄せられている。現状認識と今後の対応について問う。	市 長 教 育 長
13小園義行	1 個人情報保護の在り方について	(1) 自衛隊員の募集について、情報提供の在り方を問う。 (2) 学校において、どのように対応しているか。	市 長 教 育 長
	2 福祉行政について	(1) 加齢による聴力のおとろえを感じる住民が補聴器の購入を希望する際、補助金を支給する考えはないか。	市 長
	3 環境行政について	(1) 校区公民館活動から地域コミュニティ協議会へ移行する事で自治会未加入の住民のごみ出しについてどのように考えるか。	市 長 教 育 長
	4 服務管理について	(1) 会計年度任用職員だけで仕事をしている職場について日々の管理の在り方を問う。 (2) 給食センターの民間委託が行われるが、会計年度任用職員の年休取得等対応を問う。	市 長 教 育 長 教 育 長
	5 行政のデジタル化について	(1) 進めるにあたっては、現在本市が抱えている課題をよく把握した上で取り組む必要があると考える。国の重点計画が示している事をどのように受けとめて進めていく考えか。 (2) 改正マイナンバー法が成立した。戸籍への「氏名の振り仮名」を追加する戸籍法の改正が盛り込まれている。どのように考えるか。 (3) マイナ保険証について考え方を問う。	市 長 教 育 長 市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手	方
1 小野広嗣	1 人生100年時代を見据えた施策について	(1) 人生100年時代には、働き方や教育の在り方など、ライフスタイルのあらゆる面に革命的变化が起きると言われている。今後は、超高齢化社会に対応するための、さまざまな支援策が求められるが、本市の認識について問う。	市 教 育	長 長
	2 災害ケースマネジメントについて	(1) 5月30日、政府の中央防災会議が開かれ、被災者一人ひとりの事情に応じて支援を行う「災害ケースマネジメント」の取組などを盛り込んだ国の防災基本計画の修正案が決定され、今後、全国の自治体に整備を促していく方向性が示されたが、本市の認識を問う。	市	長
	3 地球温暖化対策の実施計画推進について	(1) 本市では、地球温暖化対策の推進を図ることを目的として、「志布志市地球温暖化対策実行計画」を令和5年3月に策定し、計画を実のあるものにするためには、市民、事業者、行政が一体となって全力で取り組むことが必要であるとしているが、実行計画推進の取組の現状について問う。	市	長
	4 GIGAスクールの課題と対策について	(1) 「GIGAスクール構想」によって整備された一人一台端末環境は、令和の教育改革の柱である「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実に必要不可欠なツールであるが、全国的に学校間の利用格差をはじめ様々な課題が指摘されており、改善に向けた対策が急務となっている。本市の現状について問う。	教 育	長 長
2 稲付洋平	1 物価高騰について	(1) 物価高騰に対する全市民への支援策として、割増率の高いプレミアム商品券を発行する考えはないか問う。	市	長
	2 子育て支援について	(1) 本市の子育て支援策として、副教材の購入を支援する考えはないか問う。	市 教 育	長 長
3 野村広志	1 畜産振興について	(1) 子牛平均価格が10年ぶりに50万円を切った。畜産農家は悲鳴を上げている現状を鑑み、本市の畜産振興の将来展望は描けるのか。	市	長
	2 中心市街地の活性化について	(1) 令和5年6月定例会において取得する事が決まった民間用地について、しかるべき調査後に、民間による活用策は考えられないか。 (2) 駐車場の一部有料化の考え方について。 (3) 近隣残地の取得の考え方について。	市 市	長 長
	3 市民の憩いの場の提供について	(1) コロナ禍を経て、疲弊した市民コミュニティにとって、安心して集い憩える「場」の提供は必要ではないかと感じる。市民広場のような施設整備は考えられないか。 (2) 市立図書館にカフェ等を併設し、憩いと安らぎの場として活用する考えはないか。	市 教 育 市 教 育	長 長 長 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手	方
3野村広志	4 本庁舎5階と文化会館をつなぐ連絡橋の整備について	(1) 本庁舎5階と文化会館を連絡橋でつなぎ、一体的な庁舎機能としての活用は考えられないか。 (2) 連絡橋が実現する事により、総合的な活用法として、どのような可能性があると考えられるか。	市 教 育 市	長 長 長
4 栞山晋司	1 開業支援事業について	(1) 創業支援事業制度から、開業支援事業制度に変更となったが、現状を問う。	市	長
	2 パートナーシップ宣誓制度について	(1) パートナーシップ宣誓制度への取組状況について問う。	市	長
5 小辻一海	1 鉄道記念公園（SL・車掌車・ディーゼル車）の整備について	(1) 鉄道記念公園の整備とSLを含む3車両を市が取得した経緯について問う。 (2) 鉄道文化遺産を活用したまちづくりと、次世代を担う子供の教育のための必要性について問う。 (3) 管理保存の現状と今後の対応について問う。 (4) 観光資源としての活用について問う。	市 教 育 市 市	長 長 長 長
	2 環境行政について	(1) 特定外来生物毒グモ「ハイイロゴケグモ」の生息状況把握について問う。 (2) 特定外来生物を発見した場合の対応について問う。 (3) 最初の発見から現在までの取組と今後の駆除対策について問う。	市 教 育 市 教 育 市	長 長 長 長
	3 道路行政について	(1) 県道110号塗木大隅線改良工事の進捗状況と見通しについて問う。 (2) 国道220号線沿い上天神三叉路付近の歩道整備及び信号機設置の進捗状況と見通しについて問う。	市 市	長 長
6 玉垣大二郎	1 市民福祉行政について	(1) 市営墓地の現状について問う。 (2) 人生の終末期をよりよく生きる施策について問う。 (3) 市営墓地に合葬墓を建設する考えはないか。	市 市 市	長 長 長
	2 放置竹林対策について	(1) 前回（令和4年9月定例会）の質問から本事業に対する取り組み状況について問う。	市	長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手	方
7永田 梓	1 みどりの食料システム戦略について	(1) 市は国が定めている「みどりの食料システム法」をどのように受け止め、今後どのように取り組みを行う予定か問う。 (2) 無農薬・有機農業への転換を希望する個人農家に対して、市によるサポート事業を創設できないか問う。 (3) 農林水産省が推進している有機農業に地域ぐるみで取り組む産地（オーガニックビレッジ）として本市が宣言し、積極的に取り組んでいく考えはないか問う。 (4) 化学肥料や農薬を原則、使用せず栽培された農産物である「オーガニック給食」の推進に取り組む考えはないか問う。	市	長 長 長 市 教 育 長
	2 母子手帳交付事業について	(1) 病院で妊娠が確認された後に、市に母子手帳の交付を申請することになるが、その際志布志市では必要以上の情報を記入するよう見受けられる。デリケートな内容になることから、最低限の情報のみでの発行はできないのか問う。	市	長
8南 利尋	1 地域振興について	(1) 各地域で地域コミュニティ協議会が設立された。協議会では地域活性化を図るため、新たな事業に取り組んでいる。行政としても、新規支援体制を構築すべきではないか。	市	長
	2 有害鳥獣捕獲事業について	(1) イノシシの個体数が増加している現状で、猟友会の高齢化が懸念される。新規会員増加に向けた取組について問う。	市	長
	3 観光振興について	(1) 他自治体の歴史のまちづくり事業では、立地条件の良い場所に、飲食店や休憩所が整備されている。本市も同様の整備について、取り組むべきではないか問う。 (2) ダグリ岬周辺の定期的な環境保全に取り組むべきではないか問う。 (3) 夏井漁港付近に海づり公園を整備し、観光振興を図るべきではないか問う。	市 教 育 長 市 市	長 長 長
	4 新しいまちづくりについて	(1) JR志布志駅を中心とした、新たなまちづくりについての進捗状況を問う。 (2) 現状と市民の意見や要望をしっかりと把握して、整備事業に取り組むべきではないか問う。	市 市	長 長
9小園 義行	1 個人情報保護について	(1) 現在マイナンバーカードをめぐるトラブルについて、個人情報漏えいしている現状がある。個人情報の保護について、基本的な考え方を問う。	市	長
		(2) 自衛隊へ名簿情報を紙媒体で提供している。このことを個人情報保護の視点からどのように考えるか。	市	長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手	方
9小園義行	2 国保について	(1) 課税限度額の引上げを毎年提案されているが、法律に基づいて考えると本市が直接判断できると考えるがどうか。 (2) 令和6年度の県への納付金額の仮算定が示される時期である。県の基金の使い方を令和6年度も可能とするように県に要請する考えはないか。	市	長
	3 森林環境税について	(1) 令和6年度から課税される事になっている。森林環境譲与税は「森林整備及びその促進に関する費用に充てる」とされている。本市の状況を問う。	市	長
	4 福祉行政について	(1) 児童扶養手当の支給の在り方で扶養義務者の取り扱いを国が6点示している。すべての要件を満たさなければ支給を受けられないのか。	市	長
	5 インボイスについて	(1) 令和5年10月実施に向けて、国は動いている。実施されると免税事業者の方々、また課税事業者の方々も事務量等大変になる。どのように対応しているのか。	市	長
	6 マイナ保険証について	(1) 全国で起きているトラブルの現状をどのように受け止めているか。	市	長
10隈元香穂子	1 老老介護・認知介護について	(1) 本市における「老老介護・認知介護」の状況把握はできているか問う。 (2) 2025年には団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になることで、在宅介護が増えるなどの問題の発生が予想される。現状における本市の対応策について問う。 (3) 本市では、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して「オレンジほっとカフェ(認知症カフェ)」が設置されているが、市との連携については、どのような状況になっているか問う。 (4) 在宅介護講座や初任者研修講座など、本市の主導で開講する予定はないか問う。	市	長
	2 ひとり親世帯について	(1) 生活が困窮している世帯を把握しているか問う。 (2) ひとり親世帯の見守りなどの活動に取り組んできた志布志市母子寡婦福祉連絡協議会について、令和5年3月に解散したようであるが、本市として同様のサポート体制を構築する考えはないか問う。	市	長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年9月定例会

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10隈元香穂子	3 JR日南線の存続について	(1) 鉄道のある自治体を対象としたマスコミによる首長アンケートの調査結果が公表されている。その中で、赤字路線については「どちらかといえば廃線とすべき」と回答した市長の考えについて問う。	市 長
		(2) JR日南線存続に向け、利用促進事業補助金の周知や「ぽっぽマルシェ」との連携・活用など、積極的な取組がなされているか。	市 長
		(3) 今後の展開を、市としてはどのように描いているか。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.17)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 野村広志	1 コミュニティ協議会の在り方について	(1) 年次的に校区公民館からコミュニティ協議会への移行が進み、来年度からいよいよ市内全地区でコミュニティ協議会がスタートする。しかしながら、各地区では、まだ様々な課題や懸念事項があると聞いている。今後の方向性を示しながら事業の推進を図るべきではないか。	市 長 教 育 長
	2 港湾行政について	(1) 市が取り組む港湾のにぎわいづくりとは、具体的にどのようなことを想定しているか。 (2) 港湾におけるにぎわいづくりの一環として、海釣り公園等を整備する考えはないか。 (3) 「みなとまち」としてのブランド化を図るために、都市公園法に基づく公募設置管理制度 (Park-PFI) を活用した民間資金によるにぎわいの創出は考えられないか。 (4) これまでの一般質問においても、みなとオアシスの考え方が示されているが、現在の具体的な進捗について示せ。	市 長 市 長 市 長 市 長
2 小野広嗣	1 職員の意識改革と人材育成について	(1) 今後ますます多様化する市民の行政ニーズや複雑化する課題に対応し、的確な行政サービスを提供していくためには、より一層幅広い知識と能力の深化が求められており、職員の意識改革と人材育成は急務である。多様化する社会の変化を踏まえた本市の認識について問う。 (2) 市民から信頼される職員・市役所を目指すには、地方公務員法第30条に、「すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない」とあるように、全ての職員が服務規定に則り「公務員倫理」と「法令遵守」に対し、共通の認識を持って行動することが大事であると考えているが、本市の認識について問う。	市 長 市 長
	2 デジタル化の推進と課題について	(1) 本市は各地域コミュニティ協議会と、協働によるまちづくりパートナーシップ協定を締結しており、双方が持つ特性を理解して認め合うとともに、さらなる地域自治と協働によるまちづくりを推進することを目的としているが、今後、地域コミュニティにおけるデジタル活用については、どのように推進していくのか問う。 (2) 本市の市民がデジタル化の恩恵を享受できる地域社会の実現のためには、デジタル化の恩恵を受けることに障壁や制約がある方に対する配慮・支援が必要である。本市のデジタル・デバйд解消に対する認識と取組について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.18)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
2小野広嗣	3 教員の働き方改革について	(1) 文科省が6年ぶりに行った2022年度の教員勤務実態調査の結果では、改善した面があるものの、いまだ教員の長時間労働が続いている状況が浮き彫りになっている。常態化している教員の長時間労働の是正に向け、8月末には、教員確保策を議論する中央教育審議会の特別部会が、教員の働き方改革に関する緊急提言を文科相に提出している。本市の教員の働き方改革の現状について問う。	市 長 教 育 長
3持留忠義	1 農業振興について	(1) 農地バンクが遊休農地を積極的に借り受け、簡易な整備を行ったうえで、担い手に対し農地の集積・集約化を支援する遊休農地解消緊急対策事業について、今後本市でも活用する考えはないか。 (2) よみがえる農地復元対策事業は、農業者の高齢化や減少に伴う耕作放棄地の拡大に歯止めをかけるとともに、認定農業者及び担い手農家の育成のため農地を確保することを目的とする事業であったが、今後改めて取り組む考えはないか。	市 長 市 長 農 業 委 員 会 会 長
	2 畜産振興について	(1) 国による和子牛生産者臨時経営支援事業は、肉用子牛価格の急激な下落により厳しい経営状況にある生産農家の支援を行い、生産基盤の維持を図ることを目的としているが、現場の生産者の疲弊は長期にわたっていることから、さらなる支援の拡充や見直しに向けて、本市として声を上げることはできないか。 (2) 令和4年第4回定例会において、配合飼料価格の高騰が続いていることに対する対応策を質問したが、現状について問う。	市 長 市 長
	3 茶業振興について	(1) 令和4年第4回定例会において、茶の年間平均価格が低迷している中で価格補填に取り組む考えはないかと質問したが、現状について問う。 (2) 肥料価格の高騰が生産農家の経営を圧迫しているが、本市としての見解と、今後の具体的な対応策を問う。	市 長 市 長
4南 利 尋	1 各種学校の設立について	(1) 志布志港の整備やインフラ整備が進む一方で、人口減少が進み、労働力不足が深刻な状況にある。日本語学校などの設立を検討すべきではないか問う。 (2) まちの活性化を図るためにも、グローバルな交流人口、関係人口の増加につながる施策を検討すべきではないか問う。	市 長 市 長
	2 スポーツ振興について	(1) トップアスリートを目指す子供たちに対して、本市独自の支援事業に取り組む考えはないか問う。	市 長 教 育 長
	3 観光振興について	(1) 過去の一般質問においても、道の駅整備は必要だという旨の答弁があったが、取組状況を問う。 (2) ダグリ岬ベイサイド構想の進捗状況について問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.19)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 南 利 尋	3 観光振興について	(3) 魅力あるダグリ岬ベイサイド構想を実現するためにも、国道沿いにある廃墟の購入・解体を検討すべきではないか問う。	市 長
		(4) 国道沿いの景観保全について問う。	市 長
5 青山浩二	1 安全・安心なまちづくりについて	(1) 現在、市内全域の公共施設において、AEDは何台設置されているのか。また、直近3年程度で、具体的な使用例があったのか問う。	市 長 教 育 長
		(2) 民間施設において、AEDの設置状況について把握しているのか問う。	市 長
		(3) AEDを設置している民間施設及び公共施設を一覧表にして、AED設置マップを作成し、市民に周知するというような官民連携した取組をしてみてもどうか問う。	市 長
		(4) AEDを設置する民間施設に市独自の補助金制度を創設する考えはないか問う。	市 長
	2 組織機構再編計画について	(5) 市の様々なイベント時におけるAEDの設置状況について問う。	市 長
		(1) 今回提案されている課設置条例の一部改正について、令和6年4月予定の再編計画に対する、市長の考え、思いを示せ。また、将来に向けて、組織とはどのような姿が理想だと思っているのか示せ。	市 長
		(2) 令和6年4月予定の再編計画の具体的な内容について問う。	市 長 教 育 長
6 栞山晋司	3 土地購入（ひばりビル購入）事業について	(3) 令和7年度以降の再編計画の具体的な内容について問う。	市 長
		(1) 本年6月定例会で購入が決定した民間ビルについて、利活用の協議の進捗状況について問う。	市 長
6 栞山晋司	1 体育館へのエアコンの設置について	(1) 志布志運動公園体育館の利用促進を図るとともに、熱中症予防、災害時への備えとして、体育館へエアコンを設置する考えがないかを問う。	市 長 教 育 長
	2 オーガニックビレッジ宣言について	(1) 農林水産省では、みどりの食料システム戦略を踏まえ、有機農業に地域ぐるみで取り組む産地（オーガニックビレッジ）の創出に取り組む市町村の支援を行っているが、オーガニックビレッジ宣言を行う考えはないかを問う。	市 長
	3 本市独自の就業支援制度について	(1) 近年大きな課題となっている、働き手の人材不足問題や人口流出の対策として、また移住・定住促進へとつながる可能性を考え、市内事業所へ新規就業した方に向けて、本市独自の就業支援制度を設ける考えはないかを問う。	市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.20)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7丸山 一	1 急傾斜工 事の対策に ついて	(1) 一丁田・通山・下通山・押切東地区にある急傾斜地について、数十年前の対策工事以降、現場には雑木・竹等が繁茂し、民有地への倒れ込みや急傾斜避難階段への通路をふさいでいる状況である。近隣住民の不安解消のためにも、今後何らかの対策を講じるべきと考えるが、市長の考えを問う。	市 長
	2 道路行政 について	(1) 人口減少・高齢化により、自治会による市道等道路愛護清掃伐採作業が困難になっている。今後の対応策について問う。	市 長
	3 有害鳥獣 対策につい て	(1) 近年イノシシ、アナグマ等が増加し、農地や家庭菜園が荒らされる状況である。今後の対応策について問う。	市 長
8市ヶ谷孝	1 組織再編 について	(1) 自治体運営を最大限に効率化する目的で、課の統廃合や細分化を推し進める際の、市長の考え方について問う。 (2) 今定例会で提案されている「課設置条例の一部を改正する条例の制定について」が、どのような経緯で議案上程に至ったのか問う。	市 長 市 長
	2 高齢者福 祉について	(1) 令和4年6月定例会の一般質問で答弁があった「食の自立支援事業」「配食支援事業」の方向性について、その後どのような協議の進捗があったか問う。	市 長
9鶴迫京子	1 子育て応 援施策につ いて	(1) 兵庫県相生市の子育て応援施策事業「11の鍵」では、支援の内容が一目瞭然で非常に分かりやすいパンフレットが作成され、市内外に向けた周知・広報に大いに寄与している。本市でも、充実した子育て支援施策が展開されていることから、同様の取組ができないか問う。 (2) 同市では、市民が地域全体で子育てを支えるまちを目指して平成23年に「子育て応援都市宣言」を行っている。子供は次代を担うかけがえのない存在であることは共通の認識であることを踏まえ、本市でも同様の宣言ができないか問う。 (3) 「11の鍵」のひとつに、子育て応援チケットの交付事業がある。これは、子供の誕生から3歳になるまで利用できる子育て応援券(20,000円分)をプレゼントするものであるが、本市でも考えられないか。	市 長 市 長 市 長
	2 年間行事 の時期の見 直しについ て	(1) 市や学校、団体等の年間行事が、2学期に集中し、行事が重なっていると感じる。行事の内容や開催時期を精査し、見直す考えはないか。	市 長 教 育 長
10小園 義行	1 組織機構 再編計画に ついて	(1) 組織の再編を進め、職員間の連携強化を図るとともに、グループ制を導入することになった。目的と経過を問う。	市 長 教 育 長

一 般 質 問 通 告 書

令和5年12月定例会 (No.21)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
10小園義行	2 教育行政について	(1) 教育行政要覧で重点政策を示している。その中で豊かな心の育成として6点、述べている。教育委員会と学校との在り方等を問う。 (2) 特別支援教育について、特別支援学級に入級している児童・生徒を同学年とカウントしていない現状をどのように考えるか。 (3) 特別支援学校の設置に向けて、県と関係市町との協議について問う。 (4) 給食費の無償化に向けて、具体的な議論がなされているか。	市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長 市 長 教 育 長
	3 福祉行政について	(1) 障害者差別解消法が、2024年4月から民間事業者にも対応を求められている。本市の対応を問う。	市 長 教 育 長
11福重彰史	1 道路行政について	(1) 県道柿ノ木志布志線弓場ヶ尾地区の現状と拡幅改良計画の見通しを示せ。 (2) 前回の質問に対する市長の答弁から何か前進があったのか。 (3) 具体的にどのような行動を起こされたのか。 (4) 今後の対策について問う。	市 長 市 長 市 長 市 長
	2 有害鳥獣被害対策について	(1) 被害状況ならびに捕獲状況を問う。 (2) 捕獲対策の継続ならびに新たな対策、さらには猟友会や狩猟者に対する支援の拡充の考えはないか。 (3) 将来を見据えた猟友会の一本化に向けた取組は考えていないか。	市 長 市 長 市 長
	3 道の駅やちちくふるさと村について	(1) 現在の運営状況について示せ。 (2) 今後の経営方針と広場の維持管理・活用について問う。 (3) 所管の在り方を含め、全体的な構想をもう一度考えるべきでないか問う。	市 長 市 長 市 長